

財団奨学生 イギリス留学中間報告

グローバル補助金奨学生 片岡 舞

マンチェスター大学大学院

国際開発学：貧困、紛争、再構築コース

時間が経つのはあっという間で、マンチェスターに着いてから1ヶ月半ほどになりました。授業が始まったのは9月27日であるため、コース開始から約1ヶ月経ったところですが、早速今週提出のエッセイ課題があり、土日関係なく図書館にこもる日々でした。

エッセイを提出し終え、来週はリーディングウィークとあって、授業がお休みになるため、少し落ち着いたところで、この1ヶ月半を振り返ってこちらでの生活をお伝えしたいと思います。

・ 時間割

イギリスの大学院はセメスター1（9～12月）、セメスター2（1～4月）、セメスター3（5～9月）に分かれています。セメスター1とセメスター2はそれぞれ4つの授業で構成されており、最後のセメスターは基本的に授業はなく、修士論文を執筆する期間となっています。私の今期の時間割はこのようになっています。

	月	火	木	金
午前	Development Fundamentals		Poverty and Development	
午後	Development Fundamentals (Tutorial)	Peace and Social Agency	Conflict Analysis	Conflict Analysis (Tutorial)
			Poverty and Development (Tutorial)	
			Peace and Social Agency (Tutorial)	

① Development Fundamentals

: 開発学の基本的な理論や変遷を学びます。

② Peace and Social Agency, Security and Intervention: Theories and Practices

: 平和構築をめぐる理論や概念を学びます。

③ Poverty and Development

: 貧困の様々な定義やアプローチ、理論を学びます。

④ Conflict Analysis

: 紛争や暴力の原因や構造を様々な観点から学びます。

授業は基本的に講義形式ですが、各授業、2週間に1回ほどのペースで Tutorial のクラスがあります。Tutorial の時間は講義と違い、生徒中心でディスカッション、ディベート、プレゼンテーションなどを行います。

各授業、毎回何冊ものリーディングリストが与えられます。それに加え、Tutorial のためのリーディング、エッセイのためのリーディングもあるため、授業数は少なくても、膨大な量の課題図書があるため忙しい日々が続きます。

マンチェスター大学は中国人の生徒が非常に多いですが(経営やエンジニア系の学部だと7、8割は中国人です)、開発学部は割とバランスよく様々な国から留学生が来ています。私の貧困、紛争、再構築のコースは私をいれて14名ですが、イギリス人2名、ナイジェリア出身イギリス人、韓国人、中国人、オーストリア系イスラエル人、コロンビア人、トリニダードトバゴ人、ケニア人、オランダ人、グルジア人、スーダン人、レバノン人と非常に多様で、様々なバックグラウンドを持つ人々で構成されていて、毎日刺激を受けます。

こちらに来て驚いたことは、他の国の学生の積極性です。教授が講義で話している途中でも遮って質問をしたり、ときには講義の内容を批判し始める学生もいます。エッセイでも文献を批判的に考察することが求められるので、日頃から批判的な思考を鍛える必要があります。



大学の建物 Whitworth Hall

・ 生活

マンチェスターでは大学の寮に住んでいます。キャンパス内にある寮なので、授業のある建物まで5分ほどで着いてしまいます。キッチンのみ共有で、中国、フィリピン、マレーシアからの学生とシェアしています。

寮の裏には大きな中国スーパーがあり、そこで日本食もたくさん売られています。驚いたのは、日本のお菓子や納豆までそのスーパーに置いてありました。他にも安いスーパーもあり、キャンパスから10分ほどの距離に中東・南アジア系のレストランが立ち並んでいるエリア、駅の近くには大きな中華街もあり、食事には不自由していません。



大学寮 George Kenyon Hall

・ ウィルムズロー・ディーン・ロータリークラブ訪問

10月27日に受入ロータリークラブ、The Rotary Club of Wilmslow Deanの例会にご招待いただきました。ウィルムズロー・ディーン・ロータリークラブは今年、もう一人、アメリカのポートランドからの奨学生、Kasiaも受け入れています。



私と Kasia で10分ずつ卓話のお時間をいただき、茅ヶ崎中央ロータリークラブと、茅ヶ崎市の紹介をさせていただきました。今後もイベントなどご招待いただける予定なので、またご報告させていただきたいと思います。

ウィルムズローディーンロータリークラブにて